



新発田市立紫雲寺小学校

学校だより

6月15日号

<http://shiunjies.shibata.ed.jp>

水やり

校長 土田 志津子

グラウンド脇の通学路の所に、フェンスに沿ってプランターが並べてあります。赤紫や黄色のパンジーの花が、朝夕、子どもたちを迎えてくれています。聞くところによると、商工会の方々が置いてくださっているということですが、どなたか、水をあげてくれているようです。姿を見たことがなく、お礼を申し上げていないのですが、ありがとうございます。

道路に沿って並ぶ家々の庭の花と、プランターの花が、通学路を挟んで咲いています。花の道を子どもたちは通学しているわけです。なんと幸せなことかと思うのです。

「いじめの未然防止策として“7つのアイテム”を大切にしている」という話を、読んだことを思い出しました。それは、「笑顔」「あいさつ」「花」「読書」「合唱」「清掃」「ボランティア」です。毎朝、毎夕、「花」の道を往き来している子どもたちの心の状態を考えると、やさしい気持ちやうれしい気持ちが芽生えるのは必然のように思います。そういう気持ちの持ち主が、人をいじめたくなることは、普通は、ないと思います。未然防止策というわけですから、完全な策ではありません。でも、普段から「花」のある環境で育ったら、やはり未然防止の対策になると、私も思います。

運動会后、一人一鉢の栽培活動が始まりました。1年生は、朝顔とひまわりなどの花、2年生は、野菜作りの学習を兼ねてミニトマトなどの野菜類、3年生はトレニア、4年生は日々草、5年生はガザニア、6年生はペンタスを育てています。子どもたちは、朝登校すると、教室へ行く前に、自分の花に、水をあげています。友達とおしゃべりをしながら、水をあげています。何気ない水やりの行為ですが、生き物を可愛がって育てる行為が、きっと“人を大切に作る心”につながっていくのだと思います。また、そんな“大事な心”になることを、わたし達教職員は、栽培活動を通して、教えていかなければならないと思っています。このほか、人権啓発課からいただいた花も、環境美化委員会の5,6年生が、水やりをして育てています。玄関先は、花でいっぱいです。子どもたちの心も、やさしさがもつともつといっぱいになると信じています。

今年度は、「読書」も取り入れました。月曜日から木曜日の朝の10分間ですが、子どもたちは、思い思いの本を静かに読んでいます。本から学ぶこともいっぱいあります。心豊かな子どもになってほしいです。また、「あいさつ」と「清掃」は、昨年度から継続して取り組んでいます。校門前で、意識して「笑顔」で「おはようございます。」と声を掛けていますが、今年度は、子どもの方からあいさつをするようになってきています。ぞうきんがけも、前よりずっと上手になってきています。

“7つのアイテム”とまではいきませんが、できることから始めています。ご家庭の皆さんの「笑顔」と、れんぎょうパトロールの皆さんの「笑顔」と、教職員の「笑顔」で、子どもたちの心を、HAPPYにさせましょう。今後もよろしく願いいたします。

運動会

ご応援、ありがとうございました。

赤組ファミリーも白組ファミリーも、全力でがんばりました。最後の涙は、美しかったです。子どもたちから感動をもらえました。ご家族や地域の皆さまの大きなご声援ありがとうございました。



VS



低学年 玉入れ (俳句：玉入れて いっぱい投げて へとへとだ 2年 田中だいき)



VS



中学年 綱引き (俳句：手のひらが いたくなるまで がんばった 3年 井畑 歩美)



VS



高学年 大玉送り (俳句：大玉を 送って送って 勝ってやる 5年 北原 博企)



おねがい

様々な都合で、登下校の際、自家用車で送迎することがあるかと思ひます。その際は、職員駐車場にお車を駐車してください。子どもたちの交通安全のためによろしくお願いいたします。